

すまいは生活の満足に効く 住宅市場研究室 小間幸一

kouichi-koma@toshinjuuken.co.jp

すまいを買い生活に満足できる。こう書くといかにも住宅会社の広告のようだがそうでもない。

添付のグラフは愛知県で一戸建住宅を既に行った人と買いたいと思っている人に生活の満足度を尋ねたアンケート結果だ。選択肢は生活満足に関する内容を幅広く用意している。人とのかかわり、プライベート、安心や安全、利便性、財産、収入、人生の達成感等である。これによれば、買った後の人のほうが明らかに生活の満足が高いことがわかる。やはり、すまいを買い生活の満足が向上するのだ。

グラフを見て最初に気になったのは、配偶者とのかかわりや静かに暮らせることについての満足度が高いことだ。新しく一戸建住宅に住み替えた人たちの回答なので、静かに暮らせるのは理解できる。しかし、配偶者とのかかわり方についての満足が最も高くなっているのは興味深い。新しいすまいに住むことは夫婦円満のコツのようだ。すまいの購入という共同作業を通じ信頼感が増し、お互いを見つめなおして惚れ直したということなのだろうか。

次に気になったのは、風呂にゆっくり入ってリフレッシュできるので満足という回答が購入前の人 16.07%に対し、購入後の人は 41.23%と 25.16 ポイントも跳ね上がっていることだ。多くの人が賃貸住宅の風呂の狭さに不満を抱いており、新築住宅の広めの風呂に想定外の満足を覚えた結果なのだろう。それにしても、モノがあふれ豊かといわれている現代日本で風呂に入ることにこんなにすなおに満足する人がいるということは実にほほえましい限りである。

ここまで気になったことを解説してきたが、2つの例に共通するのはすまいとは単なるハードを提供する以上のもの、少し大げさに言えばメンタルな心や絆、気持ち良さをお届けしているのではないのかということだ。

住宅業界はデフレ不況が長引く中、購入者も減少し、すまいも値引き合戦が当たり前の状態が続いている。そんな中、そもそもすまいをなぜ売るのか、なぜすまいを買いのかを振り返るのに格好のデータではないだろうか。ここだけの話だが、すまいは生活の満足にやはり効くようだ。

以上

※ 本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

現在の生活について満足していると思うもの(複数回答)

(%)

